

第7回専門部会 議事録（企業カテゴリー）

平成28年3月17日（木）18時30分～

登別市市民活動センター のぼりん 2階 市民活動室D

- ◆出席委員：鈴木 高士 委員
- 望月 一延 委員
- 吉元 美穂 委員
- 松山 哲男 委員
- 計4名

- ◆事務局：商工労政グループ穴戸商工労政・新エネルギー主幹
奥田主査
竹中担当員

- ◆議題：（1）各専門部会における具体的事業の協議

【要旨】

項目	発言者	内容
<p>(1) 各専門部会における具 体的事業の協議</p>	事務局	<p>ご多忙のところお集まり頂き、ありがとうございます。第7回専門部会を開催いたします。</p>
	委員	<p>市民・事業者・行政の三者による新たな組織と場の創出によって、各種取り組みによる商圈拡大や人材育成などとともに、市民（消費者）の安心の提供を目指す取り組みを行う。</p>
	委員	<p>プラットフォームを地元愛会議という名称でやる、一度に全てできないので、段階を踏んで進めて行く。</p> <p>例えば困りごと相談会を実施し、市民と企業のマッチングを行い商圈の拡大を図る。またビジネススクールを行い人材育成も実施する。</p>
	委員	<p>事業所が取り組んでいる業務内容の市民への周知不足している。</p> <p>同業者や異業者間のコミュニケーション（情報交換や連携）についても不足している。</p>
	委員	<p>市民の身近な困りごとへの事業者の取り組みも不足している。</p>
	委員	<p>それらをPRすることにより、商圈拡大（新たな事業展開、ビジネスマッチングなど）に繋がる。</p>
	委員	<p>市民（消費者）への安心提供（各種相談）によって、業務内容の理解と人間関係が深まり、市民からの発注の可能性が高くなり、ウィンウィンの関係が高まるのではないかと。</p>
	委員	<p>「地元愛」のある市民・事業所・行政、商工会議所、観光協会などが連携し構成する「地元愛会議」を設立する。</p>
	委員	<p>「地元愛会議」の設置目的と取り組み内容の明確さ（コンセプト）に対する理解と周知方法が課題となる。</p>
	委員	<p>まちづくりにも関係してくるが、連携した地域経済振興に向けた熱い思いを持つ人の拡充が必要ではないかと。</p>
委員	<p>トップリーダーを誰に、中心的リーダーシップ</p>	

を發揮するのを誰がやるのか？また誰が組織運営の役割を担うのが課題となる。

委員

目的と取り組み内容を明確にした「地元愛会議」を設立して、大型店と小型店との連携方法、同業・異業種間の連携、ビジネスマッチングの機会創出、商圈拡大、困りごと相談会の実施、後継者育成、ビジネススクールの開催等の機能を持った多機能型交流拠点を設置すれば良いのではないか。

事務局

本日はこれで終了します。お疲れ様でした。